

次号予告

特集 センサーデバイス・マーケティング

- 視線計測による消費者行動の理解..... 里村卓也 (慶應義塾大学)
視線追跡データに基づいた消費外部性理論の検証..... 李 振 (東洋大学)
店舗内の時系列な行動が購買行為に与える効果に関する研究
..... 石橋 健・宮崎 慧・矢田勝俊 (関西大学)
ベイジアンネットワークを用いた消費者行動モデルの構築実験
..... 左 毅 (名古屋大学), 矢田勝俊 (関西大学)
隠れマルコフモデルによる顧客店舗内行動の推定..... 佐野夏樹 (尾道市立大学)
スケールの階層性から探るスーパーマーケットの消費者行動..... 金子雄太・矢田勝俊 (関西大学)

メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●こここのところ「AI」のビジネスへの活用に関する熱は高く、企業の中でも社内資料などで、これまで全く数理とは縁遠かったところでも、キーワードとして目にするのが非常に多くなってきました。人々が「AI」として思い描く定義も、寄せる期待もさまざまではありますが、一つのイメージとしては文章を「理解」して答えを返してくれるSiriのような存在があるかと思っています。そういった意味では「検索なしでは生きていけない」私たちの生活に、自然言語処理はかつてなく染み込んできているのかもしれない。

●日々の生活の中でスマホを眺める時間が増える中で、そこで交わされる「言語」も変容しつつある気がしま

す。ソーシャルメディアの急速な浸透とともに、ここでは自然言語と、記号・画像や動画あるいはハッシュタグのようなメタ情報が入り混じってコミュニケーションを成す時代を迎えるにあたり、どんな活用可能性が広がるのか、非常に興味があります。

●自然言語処理自体は生活に欠かせない技術である一方で、その背景にある数理モデルについて私自身はちゃんと考えたことがなかったというのが正直なところでした。こうした技術のつながりをちゃんと理解しないといけないと反省すると共に、本特集はその絶好の導入だなど感じた次第です。

(笹谷俊徳)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 猿渡 康文 (筑波大学)
特集担当編集員 高野 祐一 (専修大学)
委員 池辺 淑子 (東京理科大学), 石井 儀光 (国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生 (日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鶴飼 孝盛 (慶應義塾大学), 加藤 怜 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 隆史 (立正大学), 佐久間 大 (防衛大学校), 笹谷 俊徳 (東京ガス株式会社), 高野 祐一 (専修大学), 中原 孝信 (専修大学), 生田 目崇 (中央大学), 蓮池 隆 (早稲田大学), 原田 耕平 (株式会社NTTデータ数理システム), 吉田 琢史 (株式会社東芝)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成29年11月号 第62巻 第11号 通巻683号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。